

【大雨災害に備えて】

主な大雨による災害は、山崩れやがけ崩れによる家屋・土地などの破損・埋没と洪水による家屋・土地などの浸水・流失です。

生命・財産を守るため、次の点に心がけましょう。

☆ 災害の危険がある地域の把握

市町村役場や地域振興局などに、危険地域の指定区域や過去の災害について尋ねてみましょう。広報紙に掲載されることもあります。

隣近所の方々と、住んでいる土地の特徴などや過去の災害についてふだんから話し合うことも大切です。



☆ 大雨が差し迫ると

防災気象情報は、テレビ・ラジオなどで伝えられるとともに、県などをとおして市町村長へも伝えられます。

市町村長は、災害の危険が迫った地域の住民に対して避難勧告や避難指示を行います(緊急の場合、現場の警察官が行う場合もあります)。

大雨時の注意点

- ① 常に最新の防災気象情報に注意
- ② 危険な場所に近づかない
- ③ 危険を感じたらすぐ避難



☆ 避難とその準備

「避難勧告」を受けた場合は、早めの行動が大切です。

大雨や浸水の中での避難は、大変危険で困難です。停電で暗闇となることも多く、いつもと同じように行動することはできません。まわりに危険が所がなくコンクリートなどの堅固な2階以上のつくりであれば高階に避難しましょう。

また、浸水に備えて、高い所に重要な家財を置くなどの対策も有効です。

豆ちしき：人が行動できなくなる水の深さ

子供の場合はたった 20 cm で自由に動くことができなくなります。これに水の流れが加わるとあっという間に流されたりします。大人の男性でも 70 cm を超えると自由に動けなくなるので、浸水前の避難がもっとも重要です。



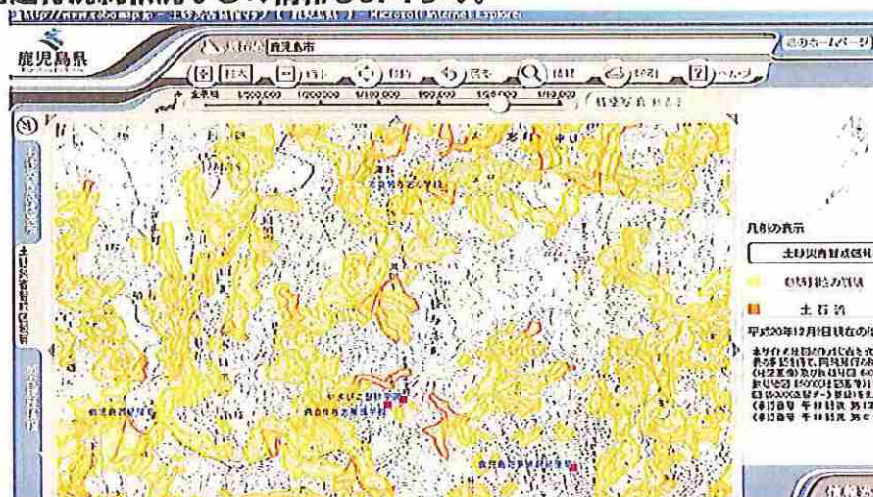
(出典：「気象のしおり」平成20年3月鹿児島地方気象台)

災害に関するホームページ

○鹿児島県ホームページ (<http://www.pref.kagoshima.jp/>)

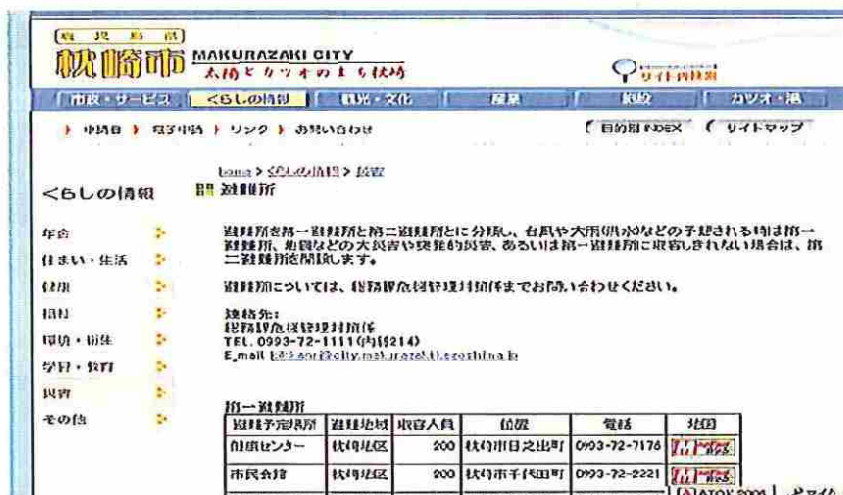
(トップページ→目的別情報→防災情報)

県の防災に関する施策や過去の災害のデータ、土砂災害警戒区域等が確認できる「土砂災害情報マップ」などの情報を入手できます。また、土砂災害警戒情報の発表状況や河川の水位等（土砂災害発生予測状況システム、河川情報システム）や道路通行規制状況などの情報もあります。



○各市町村ホームページ

各市町村の防災マップや過去の災害の記録、避難所などの情報を入手することができます。



○防災・危機管理e-カレッジ (<http://www.e-college.fdma.go.jp/>)

消防庁が作成したページで、防災・危機管理に関する学習ができます。

「地域防災の実際」のコーナーでは、D/Gの様子動画を見ることができます。

○消防防災博物館 (<http://www.bousaihaku.com/cgi-bin/hp/index.cgi>)

被災地の被害状況や対応の様子などの写真を閲覧できる「災害写真データベース」のコーナーなどがあります。

山口大学 瀧本浩一准教授 監修

平成21年3月31日

| |
|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 鹿児島県危機管理局危機管理防災課 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号 TEL 099-286-2256 FAX 099-286-5519 |
|----------------------------------------------------------------------------------------|